

# 鳥屋学園だより

令和5年度  
教育活動アンケート  
報告・学園だより  
2月号

〈鳥屋学園の教育目標〉 【自律・見識・貢献】

確かな知恵と知的探究心を基盤として、次の世代の社会を担うために  
必要な知識と生きる力の育成

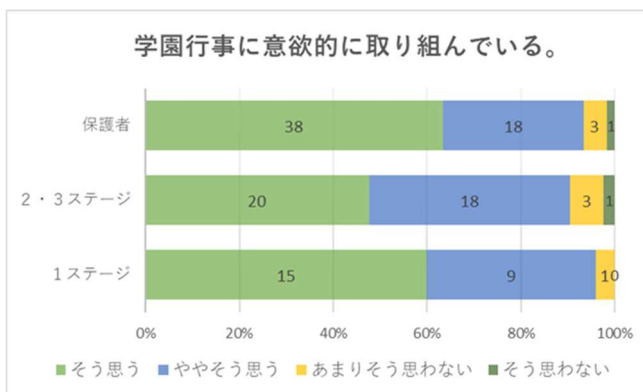
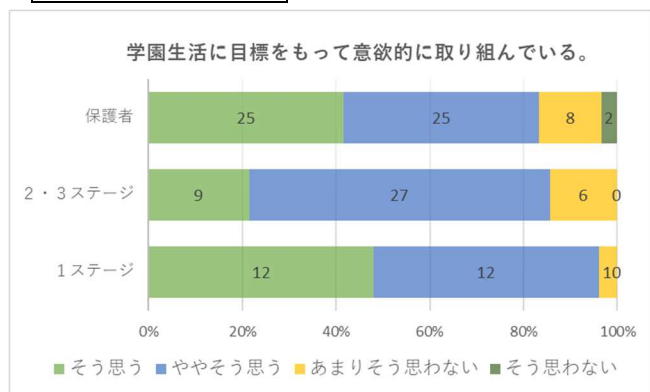


日頃より本学園の教育活動にご理解ご協力をいただき大変感謝申し上げます。

さて、過日は「教育活動に対するアンケート」へのご協力をいただきありがとうございます。ご回答いただいた結果を、学園生の集計結果と合わせてご報告させていただきます。

なお、この結果を分析し、改善できるように次年度の教育活動に反映させていただきます。

## 学園生活について

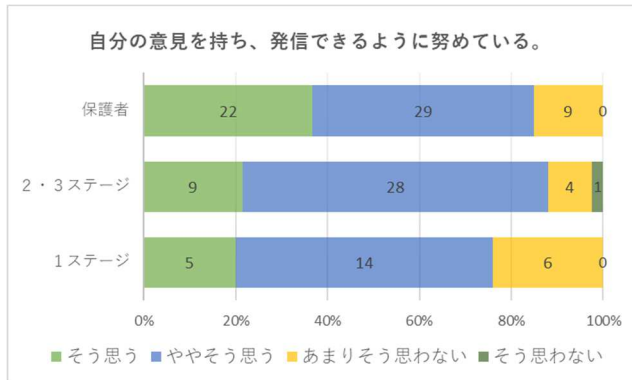
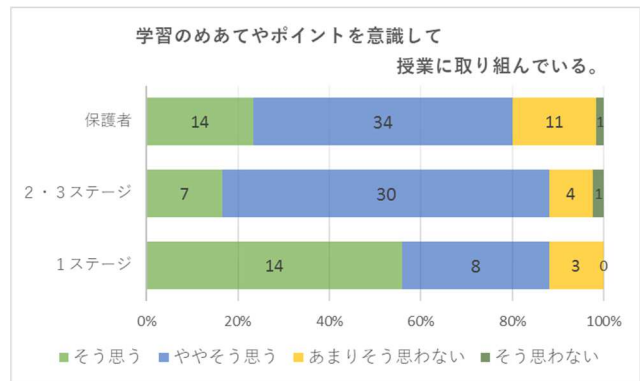
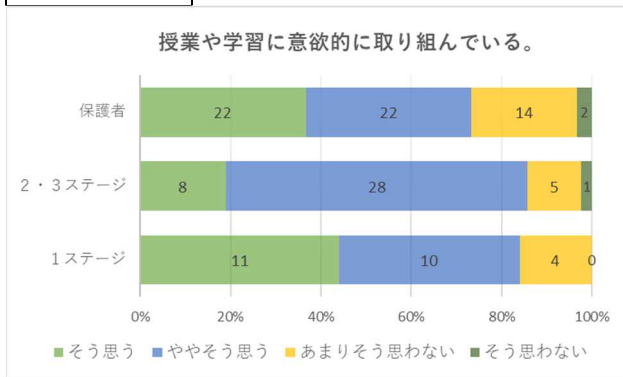


- 保護者・学園生とも8割以上の方が、学園生活に意欲的に取り組んでいると答えています。また、学園行事に関しては、9割以上の方は意欲的に取り組んでいると答えています。

◎記述された「鳥屋学園のよいところ」より…

第1ステージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昼休みに9年生がいっしょにあそんでくれる。</li> <li>・そうじにいしやすい。・後期の先生と勉強ができるようになった。</li> <li>・1～9年が仲良く、遊んでいる。誰かが泣いている時は心配してくれる。</li> </ul>
第2・3ステージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後期の先生が算数や社会をおしえてくれる。後期課程でどんなことをしているかわかる場所。</li> <li>・学年間の交流が多い。生徒と先生が話しやすい空気がある。</li> <li>・前期、後期が一緒だからこそできること(わかばっ子や掃除の時間)をやっているところ。全校がみんなに関わりをもっているところ。</li> </ul>
保護者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学園全体の先生方が色々と共有していて、先生方は、みんな親近感があり、色々と話しやすい。各学年が少ないから、何かイベントがあると合同で行動したりするので、上下関係がある中でも優しい。助け合う気持ちをもっているのが素晴らしい！</li> <li>・縦割り活動を重視しながらも、各学年での生活も大切に過ごしている。</li> <li>・人数が少ないからできることを最大限に生かして一人一人の発表の場面をつくり、それぞれが何かしらの役割を担ってクラス(学園)の必要な存在だと思えるようにしてくれている。</li> </ul>

## 学習に関して



令和2年度より、市教育委員会の指定を受け、本学園は「自分の意見を持って発信できる子」をめざし、授業においても自分の考えをもち、発信する場面を意識して授業を研究してきました。

その成果もあり、学習に対して意欲的に、自分で考え、答えを導き出そうと取り組んでいると答えた学園生は8割を超えています。

さらに、4年間ともに学んできた2・3ステージの学園生は、9割近くもの学園生が、自分の意見を発信できるように意識していることがわかりました。

◎記述「自分ができるようになったこと」より…

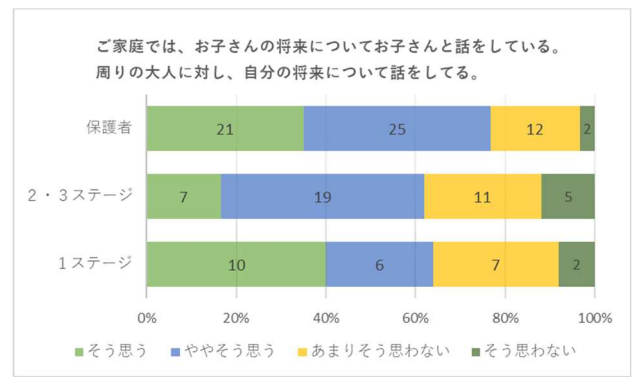
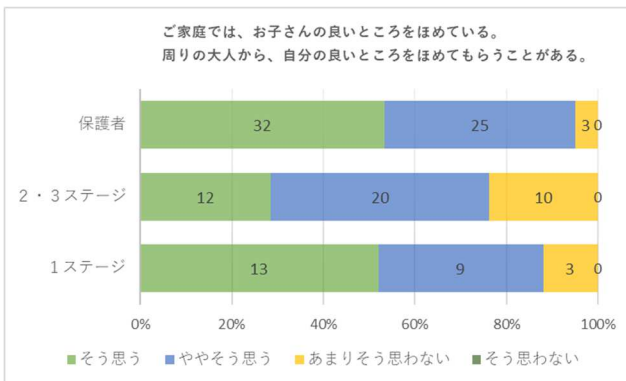
第1ステージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かけざんができるようになった。・逆上がり・カタカナが読めたり書けたり。</li> <li>・一輪車・とびばこができるようになった。・漢字をおぼえた。</li> <li>・先のことを考えてこうすることができるようになった。</li> <li>・算数でいろいろなことをならった。</li> </ul>
第2・3ステージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・算数の時間わからなかったことがわかるようになってきた。</li> <li>・今までより自分で考えることや、小学校の頃よりかは勉強に意欲的になったこと。</li> <li>・考えることが苦手だったけれど、だんだんとできるようになってきた。</li> <li>・恥ずかしがらずに意見を言うことができ、自分の意見をしっかりと持つことができた。</li> <li>・周りをよく見て、自分が今やるべきことがわかるようになった。</li> <li>・意見を相手にしっかりいえるようになった。</li> </ul>

◎記述「鳥屋学園の教育活動を通して、お子さんが成長したところ」より…

保護者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週末の自学ノート提出の宿題が、色々な事に興味を持つきっかけになっている。</li> <li>・役員を通して責任をもつこと。人前で自分の言葉で話すこと。</li> <li>・自分の意見をみんなの前で言えるようになった。自分で調べて考えてこうできるようになった。</li> <li>・周りの友達と意見をすりあわせて物事をすすめていく力がついたように感じる。</li> </ul>
-----	--

## 家庭生活について

2・3ステージの結果を見ると、自分の将来についての相談や自分の良いところを褒めてほしいと思っている学園生がおります。



発達段階の中で、年齢が上がるごとに、自分を過小評価しはじめて、自信をなくしたり、意欲をなくしたりする傾向があります。これは、精神面が大人になる前(巣立つ前)の確認する行為として2回目の赤ちゃん返りといわれています。中学生ぐらいから人によっては顕著にあらわれる場合もあります。

学園としても、自己肯定感を高めることが、意欲と自信を育てる重要なことと捉え、学園生の良さを認めた言葉かけを意識して行っています。ご家庭でも、手がかからなくなった分、認めてあげることや褒めてあげる言葉を意識して、声をかけてください。その言葉かけが、お子さんの自信を甦らせ、さまざまな困難にも立ち向かうエネルギーとなります。ご協力をおねがいします。

## 令和5年度教育活動アンケートのまとめと次年度の展望について

開校に向けて小・中学校の教職員が研究を重ねて作りあげた教育理念を基に、計画した教育活動の実践をおこなった初年度でした。

アンケートの結果、保護者・学園生ともに、学園生活・学習面・教育活動に関する質問について、肯定的な回答が多くをしめ、鳥屋学園の教育理念の共有ができたと感じております。さらに、「お子さんの成長に繋がった教育活動について」の記述内容より、校外学習・輝鳥祭「体育の部」「文化の部」の取組・縦割りでの活動等の中で9学年が一緒に活動したり、リーダーとして活躍したり、大勢の前で活動する機会が成長につながったと考える多くの記述がありました。

学園としても、今回の結果を参考にし、一つ一つの教育活動の検証を進めているところです。次年度も、教育理念・教育目標は継承し、ブラッシュアップを進めていきます。

### 次年度の教育活動の3つの柱

1. 発達段階に応じたステージ制による“学び”を醸成し、見識を高める。
2. 学びを自分事としたキャリア教育の実践を図り、自律を促す。
3. 行事や交流を通してつながる力を育成し、社会貢献の醸成をめざす。

を教育活動の重点とし、「自分の意見を発信できる子」(めざす学園生像)を具現化するため家庭、地域と協力しながら、たくましく未来を切り拓く学園生を育成していきます。

第2回保護者会 2月22日

今年度最後の授業参観となりました。全体会では、学校長より「学校評価と新年度に向けて」「いじめ防止や思いやりの気持ちを高めるための取組」等について話をいたしました。また、学校運営協議会会長から「コミュニティ・スクールについて」、PTA会長から「アンケート結果と今後の改善」について説明をしていただきました。



9年生を送る会 2月27日

お世話になった9年生にメッセージを渡したり、一緒にゲームをしたりして楽しい一時を過ごしました。一人ひとりの「ありがとう」の気持ちが伝わるあたたかな会となりました。



鳥屋学園		3月の予定【時間】		対象	
1日	金	【朝】朝会 学期末特別日課 14時下校(～5日)前	18日	月	給食最終日
4日	月	【2】リニア出前授業8～9	22日	金	【4】大掃除1～8
5日	火	【3】卒業式準備5～8 【4】卒業式練習1～8	25日	月	【1】修了式・前期課程修了証書授与式 1～8 【3】退任・離任式1～8
6日	水	【朝】健康教育1 【2】いのちの授業9	26日	火	学年末休業開始
7日	木	【1・2】卒業式予行練習全	<b>4月初めの予定</b>		
8日	金	【昼】評議会	8日	月	着任式 始業式
11日	月	【5】卒業式前日準備5～8	9日	火	入学式
12日	火	【1・2】第1回卒業証書授与式全	10日	水	身体測定 視力・聴力検査
14日	木	はくば級校外学習(アリオ橋本)	11日	木	給食開始
15日	金	【朝】学園生集会	12日	金	防災教育 集団下校訓練



お子様の様子や生活面のことでご心配なことがありましたら、遠慮なく、担任や学園までご相談ください。

鳥屋学園ホームページ <https://toya-c.sagamihara.andteacher.jp/>

学校の様子やお知らせを掲載しています。是非ご覧ください。

